



日・EUビジネス・ラウンドテーブル
プレスリリース
2011年4月18日 東京

「日・EUビジネス協力：未来への成長」

EU-Japan Business Cooperation: Growth for the Future

本日、「日・EU ビジネス・ラウンドテーブル」共同議長の米倉弘昌氏（住友化学会長）とジャン・イブ・ル・ガル氏（アリアンススペース会長兼 CEO）は東京都内で面談し、来る4月28日（木）～29日（金）（現地時間）にローマで開催される「日・EU ビジネス・ラウンドテーブル」の年次会合において、日・EU 間のビジネス環境の改善をさらに推し進めていく決意を新たに示した。

ローマ（会場：Hilton Rome Cavalieri）で行われる同年次会合では、日欧のビジネスリーダー約50名が一堂に会し、日欧企業が共通して直面する課題を軸にビジネスや研究開発分野での協力関係の進展、日・EU 関係の将来の枠組みなどを最大の焦点に議論を交わす。

ローマ会合終了直後（29日）には、共同議長の米倉氏とル・ガル氏による記者会見が行われる。年次会合と記者会見には、欧州委員会副委員長アントニオ・タヤニー氏も出席する。

ル・ガル氏は、本日、米倉氏と面談後、「日・EU ビジネス・ラウンドテーブルのローマ会合は、3月11日に日本を襲った震災後まもない異例の時期に開催することになったが、このような状況の中、同会合の日欧双方のメンバーは、日・EU 関係の飛躍的な強化を目指して、次回の日・EU 定期首脳協議で日・EU 両政府へ提出する提言書の準備に力を入れてきた。ローマ会合でこの提言書について活発な議論が交わされることを楽しみにしている」と述べた。

米倉氏は、「3月11日の震災後、わが国は非常に大きな困難に直面しているが、そうした中であって、今回、ローマでの年次会合を予定通り開催できることとなり、大変喜ばしく思っている。ル・ガル氏ならびにEU側のメンバーの多大なるご支援に心より感謝を申し上げたい。ここにきて日・EU 両政府の取組みに進展が見られていることは心強い。次回の日・EU 定期首脳協議において両政府がEUと日本の経済関係を新たな次元に高めるための重要な一步を踏み出すよう、今回のローマでの提言を通じて後押ししたいと考えている。年次会合での活発な議論を楽しみにしている。」

お問い合わせ

日欧産業協力センター（日・EUビジネス・ラウンドテーブル事務局）

東京事務所

Tel: +81 3 3221 6161

小見山揚子
樋口愛子

Email: yoko.komiyama@eu-japan.gr.jp

Email: aiko.higuchi@eu-japan.gr.jp

ブリュッセル事務所

Tel: +32 2 282 0040

Diane VAN BOCKSTAL
河村あや子

Email: diane.vanbockstal@eu-japan.eu

Email: ayako.kawamura@eu-japan.eu

日・EUビジネス・ラウンドテーブル

日・EU ビジネス・ラウンドテーブル（EU-Japan Business Round Table）は1995年に発足、約50名の日本およびEU企業のCEO／経営幹部で構成されている。日・EU間のビジネス協力のあらゆる局面に影響を及ぼす要因について見直し、日本政府および欧州委員会に対する政策提言を行うことを目的に年1回一堂に会している。

ホームページ www.eu-japan-brt.eu

記者会見のご案内

4月29日ローマ会合終了後に、「日・EUビジネス・ラウンドテーブル」共同議長による記者会見が行われます（英・日・伊3カ国同時通訳あり）。ご参加をご希望の場合は、日欧産業協力センター・ブリュッセル事務所（担当：Ms Jessica Michelson）までEメール（jessica.michelson@eu-japan.eu）またはお電話（+32 2 282 0043）でお申込みください。